

6月21日に陸前高田市を訪れたのは、町消防団の鍵和田儀一団長以下、大館道男副団長と第一分団から第八分団までの分団長らで、岩崎消防長から話を伺いました。

岩崎消防長は、「まず自分の身の安全の確保を優先する。その次に消防団員としての行動を実施すること」と語っていました。

陸前高田市消防団員 51人の犠牲から学ぶ



▲岩崎消防長の話に熱心に聞く町消防団員たち

町消防団員が研修

職務と安全確保の間で

力ポンプ積載車11台、詰め所16カ所が被害を受けました。また、陸前高田市消防団では、震災により団員51人が犠牲（現在も1人が行方不明）となりました。

岩崎消防長は当時、住民の避難誘導に当たっていた消防団員たちが、目の前で津波によ

町では、大地震などの災害時に備え、町立の幼稚園(2園・139人)、小学校(2校・485人)、中学校(2校・304人)の全員を対象に防災キットを夏休み前の7月10日から順次、配付しました。全園児・児童・生徒への配付は県内自治体では初めてです。

防災キット 幼稚園、小・中学校に配付



▲2日間ほどの食料・飲料水などを一つの箱に収めた防災キット

町は災害の発生をできる限り防ぎ、発生時の迅速な対応によって町民の生命と財産を守るまじづくりを進めています。そのような中で、町立の幼稚園、小・中学校における災害時への備えとして防災備蓄品を配付しました。

この防災キットの個人ごとの配付は、県内の自治体で初めての取り組みで、園児・児童・生徒に

災害から自分自身の安全を守るための意識・能力を身に付けさせることも目的としています。

約2日間分で、いずれの品も5年間の保存が可能です。また、食物アレルギーがある園児・児童・生徒については、家庭で用意した保存のきく食品と交換することも可能です。

防災キットのほかに、ヘルメットを小・中学校の児童・生徒のため学校に備えました。

県内自治体では初めて

小・中学校の園児・児童・生徒と教職員を対象とし、校内に保管されました。

食料としては、缶入りのパン(100g)、ミニクラッカー(75g)、ミニビスケット(75g)を1缶ずつと、保存水(ペットボトル500ml)2本の

ヘルメットは、個々の椅子にマジックテープで取り付け、非常時即座に取り外して着用できるようにしました。頭囲サイズは、52・53・54・55・56・57・58・59・60・61・62センチメートルで対応可能で、あごひもはファスナータイプのため、簡単に着用でき、光が当たると赤色反射テープが反射して存在の確認に役立ちます。

9月1日(日)に総合防災訓練

時間：午前9時～ 場所：各自主防災会、役場など
同報無線でサイレンや放送を行います。火災などと間違えないようご注意ください。

大規模な災害が発生した場合、被害の拡大を防ぐためには、国や県、そして町による「公助」だけでは十分でなく、自身の努力による「自助」や自治会単位の「共助」が必要であり、東日本大震災後は、普段から顔を合わせているご近所の皆さんで助け合う「近助」の重要性が再認識されています。

今年、町内26自主防災会が実施する各地区の状況に合わせた訓練とともに、発災直後の行動としてシェイクアウト訓練を行い、避難する際の行動を「行動チェック表」を使用して確認する訓練、地域集会所などに設置した特設公衆電話による報告訓練などを実施します。

また、あんしんメールやテレビ神奈川のデータ放送に加え、緊急速報メール(※)を利用した情報提供を試用します。 ※各携帯電話会社(docomo、au、ソフトバンク)が行っている緊急情報サービス。気象庁が配信する緊急地震速報や津波警報、国・地方公共団体が配信する災害・避難情報を、回線混雑の影響を受けずに受信することができます。このサービスのための通信料や情報料は一切かかりません

【問い合わせ】庶務課防災防犯係 ☎(83)1221

かながわシェイクアウト

参加しよう! いっせい防災行動訓練



①「DROP! : ます低く!」 ②「COVER! : 頭を守り!」 ③「HOLD ON! : 動かない!」
参加者は、一斉にそれぞれの場所で、上記①②③などの安全確保行動を1分間行ってください。

大地震が発生した際に、何よりも大切なことは「生き残る」ことです。自らは自らで守る、という「自助」の考えに基づいて、いのちを守ることが重要です。シェイクアウト訓練は自助の取り組みを実践するよい機会となりますので、各自主防災会訓練に参加する前にご家庭で実施するようにしましょう。

9月5日(木)午前11時から県が主導して市区町村で一斉に「かながわシェイクアウト※」を実施します。この訓練を町では9月1日の防災訓練に併せて実施することとしました。

※訓練会場に参加者を集める方式の防災訓練とは異なり、不特定多数の者が、一斉にそれぞれの場所で「①DROP! ②COVER! ③HOLD ON!」などの安全確保行動を1分間行う、住民の皆さんが主体的に参画する防災訓練です(上のイラスト)

広告

松田の酒を知る 酒の歴史に触れる酒蔵見学会
まつみどり
松美西「酒蔵へ行こう！」
・日時 平成25年8月24日(土)まつだ観光まつり
・酒蔵見学 14時・16時の2回(要予約 各回40人)
■お問合せ 中澤酒造株式会社 ☎(82)0024
<http://www.matsumidori.jp> お酒は、20歳になってから。